

2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年2月5日

上場会社名 株式会社リンコーコーポレーション 上場取引所 東
 コード番号 9355 URL http://www.rinko.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 南波 秀憲
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 前山 英人 TEL 025-245-4112
 四半期報告書提出予定日 2021年2月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績 (2020年4月1日～2020年12月31日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	10,976	△15.8	△294	—	△124	—	△1,125	—
2020年3月期第3四半期	13,031	△3.0	533	△25.2	569	△22.6	374	△29.3

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 △729百万円 (—%) 2020年3月期第3四半期 437百万円 (864.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	△417.15	—
2020年3月期第3四半期	139.00	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第3四半期	36,981	13,913	37.6	5,157.91
2020年3月期	37,436	14,724	39.3	5,458.26

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 13,913百万円 2020年3月期 14,724百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	—	—	30.00	30.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期 (予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想 (2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,900	△17.3	△700	—	△500	—	△1,700	—	△630.19

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

2021年3月期の連結業績予想につきましては、本日 (2021年2月5日) 公表しました「特別損失 (子会社の固定資産の減損損失) の計上及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）－、除外 一社（社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期3Q	2,700,000株	2020年3月期	2,700,000株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	2,418株	2020年3月期	2,418株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期3Q	2,697,582株	2020年3月期3Q	2,697,589株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

2020年4月1日から12月31日までの9ヶ月間（以下、当第3四半期）におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により停滞していた経済活動が再開され、各種経済政策の効果により一部に改善の兆しが見られましたが、同感染症の再拡大により先行きは一段と不透明となり、厳しい状況が続いていると認識しております。

このような状況の下、当社企業グループの主要な事業拠点であります新潟港では、貨物取扱数量は前年同四半期比で減少し、当社企業グループの主力である運輸部門の貨物取扱数量も第2四半期に引き続き減少いたしました。また、ホテル事業部門では、G o T o キャンペーン期間中の効果が表れていたものの、同キャンペーンの停止により、非常に厳しい状況が続いております。

この結果、当第3四半期の当社企業グループの売上高は109億7千6百万円（前年同四半期比15.8%の減収）、営業損失は2億9千4百万円（前年同四半期は5億3千3百万円の利益）、経常損失は1億2千4百万円（前年同四半期は5億6千9百万円の利益）となりました。また、投資有価証券の時価の下落に伴う投資有価証券評価損1億5千1百万円、ホテル事業部門の連結子会社が所有する固定資産の減損損失7億9千1百万円をそれぞれ特別損失として計上したことにより、親会社株主に帰属する四半期純損失は11億2千5百万円（前年同四半期は3億7千4百万円の利益）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(運輸部門)

当社運輸部門と運輸系子会社4社を合わせた同部門の当第3四半期の貨物取扱数量は、一般貨物、コンテナ貨物共に減少し、合計で前年同四半期比17.9%減少の388万8千トンとなりました。第2四半期に引き続き、コンテナ貨物はコロナ禍での巣ごもり消費が影響し、日用雑貨品など一部の輸入貨物の取扱は堅調だったものの、依然として輸出貨物の荷動きは鈍く、同四半期比で11.4%減少しました。また、一般貨物も主要貨物である素材原料の取扱が低調に推移し、同四半期比で28.0%減少しました。

この結果、同部門の売上高は73億2千1百万円（前年同四半期比7.0%の減収）となり、利益面では燃料価格の低下や下払輸送費など変動費は減少したものの、売上高減少の影響で労務コストや減価償却費を中心とした固定費を賄いきれず、同部門のセグメント損失は8千8百万円（前年同四半期は8千4百万円の利益）となりました。

(不動産部門)

前期末に取得した新規賃貸物件が増収に寄与し、売上高は2億4千1百万円（前年同四半期比0.4%の増収）となりましたが、減価償却費が増加した結果、セグメント利益は1億4千9百万円（前年同四半期比0.6%の減益）となりました。

(機械販売部門)

建設機械販売が大型機械の販売などもあり堅調に推移した結果、同部門の売上高は9億9千4百万円（前年同四半期比5.2%の増収）、セグメント利益は3百万円（前年同四半期は9百万円の損失）となりました。

(ホテル事業部門)

新型コロナウイルス感染拡大に伴い、不要不急の外出自粛や宴会を控える状況が続く、同部門の業績に大きな影響を及ぼしました。また、政府によるG o T o キャンペーンの期間中は宿泊、レストランを中心に効果が現れましたが、新型コロナウイルス感染の再拡大により同キャンペーンが停止されるなど、依然厳しい状況が続いております。

この結果、ホテル2社を合わせた同部門の売上高は10億5千8百万円（前年同四半期比56.6%の減収）、セグメント損失は4億1千5百万円（前年同四半期は2億5千8百万円の利益）となりました。

(商品販売部門)

セメント系商品の納入先である工事案件が前年同四半期比で減少したことなどから、同部門の売上高は12億2千9百万円（前年同四半期比14.7%の減収）、セグメント利益は2千5百万円（前年同四半期比21.0%の減益）となりました。

(その他)

保険代理店業、産業廃棄物の処理業を合わせたその他の売上高は、2億2千3百万円（前年同四半期比7.6%の増収）、セグメント利益は2千9百万円（前年同四半期比83.7%の増益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産の部は、前連結会計年度末と比べて4億5千5百万円減少し、369億8千1百万円となりました。この主な要因は、現金及び預金、電子記録債権等の増加により流動資産が4億7千1百万円増加、また投資有価証券の時価評価による増加等により投資その他の資産が2億8千8百万円増加した一方、連結子会社の減損損失等により有形固定資産が11億9千万円減少したことなどによるものであります。

負債の部は、前連結会計年度末と比べて3億5千4百万円増加し、230億6千7百万円となりました。この主な要因は、支払手形及び営業未払金、電子記録債務、繰延税金負債などの増加によるものであります。

純資産の部は、前連結会計年度末に比べて8億1千万円減少し、139億1千3百万円となりました。この主な要因は、利益剰余金の減少12億1千1百万円、その他有価証券評価差額金の増加3億5千4百万円などでありま

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結会計期間の当社企業グループの業績は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大がホテル事業部門の業績へ大きな影響を及ぼし、また、運輸部門も主要貨物の取扱数量の減少など荷動きが低調に推移し、前年同四半期比で大幅な減収減益となりました。

今年に入り新型コロナウイルス感染症の感染再拡大に伴い、2回目の緊急事態宣言が発出されるなど、社会・経済活動が再び制限されております。そのため、当社グループのホテル事業部門では、宿泊、宴会などのキャンセル・延期の発生が続き、厳しい状況が続く見込みであります。主力の運輸部門では、輸入コンテナ貨物の一部は巣ごもり需要の影響により堅調に推移するものの、輸出コンテナ貨物や素材原料を中心とした主要な一般貨物の荷動きは引き続き低調に推移する見込みであります。また、世界的なコンテナ不足に伴い、今後、新潟港でも中国航路を中心に輸送の遅れが生じる可能性があります。このような状況から売上高、営業利益は当初予想を下回る見込みであります。

さらに、当第3四半期において連結子会社の固定資産の減損損失7億9千1百万円を特別損失として計上したことに加え、当期末において投資有価証券評価損（当第3四半期は1億5千1百万円）の計上を見込んでおります。

これらを総合的に勘案し、2020年8月4日に公表しました通期の連結業績予想を以下のとおり、下方修正いたしました。詳細は、2021年2月5日公表の「特別損失（子会社の固定資産の減損損失）の計上及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2021年3月期連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 14,130	百万円 △610	百万円 △500	百万円 △470
今回修正予想（B）	13,900	△700	△500	△1,700
増減額（B－A）	△230	△90	—	△1,230
増減率（％）	△1.6	—	—	—
（ご参考）前期実績 （2020年3月期）	16,803	497	521	99

（注）上記の業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、実際の業績は予想と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	448,779	852,446
受取手形及び営業未収入金	2,720,889	2,777,868
電子記録債権	326,412	422,975
たな卸資産	93,762	85,276
未収還付法人税等	20,777	34,085
その他	283,094	194,171
貸倒引当金	△998	△2,192
流動資産合計	3,892,718	4,364,631
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	24,135,037	23,400,240
減価償却累計額	△16,060,932	△16,431,109
建物及び構築物(純額)	8,074,104	6,969,131
機械装置及び運搬具	2,412,220	2,286,903
減価償却累計額	△2,065,138	△1,983,600
機械装置及び運搬具(純額)	347,082	303,302
土地	22,013,326	22,005,478
リース資産	712,317	750,825
減価償却累計額	△340,346	△392,923
リース資産(純額)	371,971	357,901
その他	1,274,790	1,279,874
減価償却累計額	△1,096,692	△1,121,586
その他(純額)	178,097	158,288
有形固定資産合計	30,984,583	29,794,103
無形固定資産		
リース資産	158,143	137,263
その他	44,305	40,118
無形固定資産合計	202,449	177,381
投資その他の資産		
投資有価証券	2,027,896	2,324,142
繰延税金資産	93,611	82,926
その他	427,176	273,833
貸倒引当金	△191,637	△35,791
投資その他の資産合計	2,357,046	2,645,110
固定資産合計	33,544,078	32,616,595
資産合計	37,436,797	36,981,226

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	1,371,412	1,516,719
電子記録債務	188,514	317,984
短期借入金	2,350,000	2,282,300
1年内返済予定の長期借入金	2,611,982	2,626,212
リース債務	168,939	165,576
未払法人税等	44,577	16,713
賞与引当金	299,022	141,684
その他	692,883	790,980
流動負債合計	7,727,331	7,858,171
固定負債		
長期借入金	7,184,852	7,255,592
リース債務	385,260	352,736
繰延税金負債	827,181	954,107
再評価に係る繰延税金負債	4,875,664	4,875,239
退職給付に係る負債	1,375,449	1,449,421
資産除去債務	170,825	172,556
その他	166,143	149,530
固定負債合計	14,985,375	15,209,182
負債合計	22,712,706	23,067,354
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,950,000	1,950,000
資本剰余金	809,241	809,241
利益剰余金	2,776,581	1,565,017
自己株式	△7,062	△7,062
株主資本合計	5,528,760	4,317,195
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	134,302	488,828
土地再評価差額金	9,406,573	9,411,921
退職給付に係る調整累計額	△345,545	△304,073
その他の包括利益累計額合計	9,195,330	9,596,676
純資産合計	14,724,090	13,913,872
負債純資産合計	37,436,797	36,981,226

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高		
運輸作業収入	7,159,665	6,734,655
港湾営業収入	125,650	105,124
不動産売上高	221,804	224,341
機械営業収入	891,289	953,285
ホテル営業収入	2,429,002	1,053,849
商品売上高	1,412,941	1,206,405
その他の事業収入	791,608	698,983
売上高合計	13,031,960	10,976,647
売上原価		
運輸作業費	6,661,846	6,417,919
港湾営業費	93,922	83,518
不動産売上原価	75,501	80,122
機械営業費	841,857	903,215
ホテル営業費	1,911,844	1,245,132
商品売上原価	1,369,545	1,168,796
その他の事業費用	516,421	431,549
売上原価合計	11,470,939	10,330,256
売上総利益	1,561,021	646,390
販売費及び一般管理費	1,027,868	941,162
営業利益又は営業損失(△)	533,152	△294,771
営業外収益		
受取利息	4,035	24
受取配当金	84,465	64,876
助成金収入	98	155,493
雑収入	11,926	16,383
営業外収益合計	100,526	236,777
営業外費用		
支払利息	63,379	63,698
雑支出	670	2,588
営業外費用合計	64,050	66,286
経常利益又は経常損失(△)	569,628	△124,280
特別利益		
固定資産売却益	2,651	14,469
投資有価証券売却益	1,392	—
特別利益合計	4,043	14,469
特別損失		
固定資産処分損	32,416	18,460
投資有価証券評価損	—	151,863
会員権評価損	—	525
減損損失	—	791,034
特別損失合計	32,416	961,882
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	541,256	△1,071,693
法人税、住民税及び事業税	88,926	26,635
法人税等調整額	77,356	26,959
法人税等合計	166,283	53,594
四半期純利益又は四半期純損失(△)	374,972	△1,125,288
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	374,972	△1,125,288

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	374,972	△1,125,288
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	29,400	354,525
退職給付に係る調整額	33,418	41,472
その他の包括利益合計	62,819	395,998
四半期包括利益	437,792	△729,290
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	437,792	△729,290

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（追加情報）

新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、当社企業グループにおきましては、ホテル事業部門を中心に大きな影響を受け、売上高の減少リスクが生じていると認識しております。

このような状況を踏まえ、前連結会計年度において当社企業グループは2021年3月頃までその影響が続くとの仮定に基づき、会計上の見積り（主に固定資産の減損、繰延税金資産の回収可能性）を実施いたしました。当第3四半期連結累計期間までの新型コロナウイルス感染拡大の現状を考慮し、その影響が2022年3月期も一定期間継続し、その後緩やかに回復していくとの仮定に見直しを行い、会計上の見積りを実施しております。

なお、当該見積りは現時点における最善の見積りではありますが、新型コロナウイルス感染症の収束時期や事業環境への影響についての不確実性が高いため、今後の財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況に影響を及ぼす可能性があります。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	運輸部門	不動産部門	機械販売部門	ホテル事業部門	商品販売部門	計		
売上高								
外部顧客への売上高	7,868,910	221,804	891,289	2,429,002	1,412,941	12,823,948	208,012	13,031,960
セグメント間の内部売上高又は振替高	7,302	18,498	53,928	6,876	28,468	115,074	—	115,074
計	7,876,213	240,302	945,217	2,435,879	1,441,409	12,939,022	208,012	13,147,035
セグメント利益又は損失(△)	84,543	150,672	△9,423	258,536	32,316	516,645	16,205	532,850

(注)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代理店業務、産業廃棄物の処理業務を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	516,645
「その他」の区分の利益	16,205
セグメント間取引消去	100
その他の調整額	202
四半期連結損益計算書の営業利益	533,152

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	運輸部門	不動産部門	機械販売部門	ホテル事業部門	商品販売部門	計		
売上高								
外部顧客への売上高	7,314,976	224,341	953,285	1,053,849	1,206,405	10,752,858	223,788	10,976,647
セグメント間の内部売上高又は振替高	6,083	16,954	41,083	4,509	22,638	91,268	12	91,280
計	7,321,059	241,295	994,369	1,058,359	1,229,044	10,844,127	223,800	11,067,927
セグメント利益又は損失(△)	△88,087	149,733	3,150	△415,483	25,513	△325,172	29,771	△295,401

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代理店業務、産業廃棄物の処理業務を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	△325,172
「その他」の区分の利益	29,771
セグメント間取引消去	△200
その他の調整額	829
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△294,771

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「ホテル事業部門」セグメントにおいて、株式会社ホテル新潟及び株式会社ホテル大佐渡のホテル事業用資産について、新型コロナウイルス感染症による急激な業績悪化に伴い、想定していた収益が見込まれなくなり回収可能性が低下したため、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては、791,034千円であります。